



SwimEx

総合ガイド（住宅用）



市場最も多才で パワフルで 楽しいプール

世界中に多数の設置実績を持ち、日本と米国にエキスパートを置いているSwimExは、その知識および経験を活かし、お客様に最適なフィットネス環境の実現をトータルにサポートします。もちろん、私たちの仕事はプールの引渡しを以て終了するわけではありません。ホームオーナーには個々に合わせたエクササイズプログラムの提供やご自宅へ出向き、パーソナルトレーニング、メンテナンスサービスなどの実施を通じて、プールの効果を最大限に高める様々な活用法をご提案します。また、ウェブサイトではエクササイズ動画もご覧いただけます。皆様の健康づくりに、具体的な形で私たちはサポートしていきます。

3ステップで簡単！

プール選びとプランニング

このガイドは、SwimExのプール選びにお役立ていただける資料として、各タイプの特徴、標準装備およびオプションをご紹介します。また、設置予定現場の設計プランにどのように組み入れるのかなど、設計士用の初期情報もあわせて掲載しています。このガイドに掲載された内容以外で何かお知りになりたい情報があればご遠慮なくお問い合わせください。

目次

ステップ1 (プール選びのための情報)

プールを選ぶ

プールの標準装備とオプション4

プールのラインアップ、図面と仕様6

ステップ2 (設計士のための情報)

設置現場で考慮すべき事項

基本情報.....8

設置に関する必要事項9

設計プランに関する必要事項.....9

電気に関する必要事項 10

配管に関する必要事項 10

環境管理に関する必要事項 10

ステップ3 (設計士／設置施工業者のための情報)

プールの搬入と設置11





手すりとステップ



前部手すり



空圧式操作ボタン



LED水中照明

ステップ1：プールを選ぶ

最高品質の価値をもたらすSwimExの装備品

すべてのSwimExプールには、以下のものが標準で装備されています。

■主要装備：ギアモーター、電機制御盤、浄水濾過システム（ポンプ、濾過器、ヒーター）

《安全性&利便性》

- 前部と側部に備え付けられた手すり（使用者の安全を確保）
- 後部のストップバー（緊急時にパドルホイールの稼働を停止）
- 手すりとステップ（プールへの出入りが簡単）
- 滑り止め加工（プール内底面は滑り止め加工が施されています）
- LED水中照明（より良い視界の確保や、癒し空間の演出に。いずれか片側に2つ設置）

《操作&各種ツール》

- 空圧式操作ボタン（水泳やエクササイズをしながら簡単に水流の速度調節が可能）
- 水中用品用具クーポン（アクアベル、アクアジョガー、キックボードなど、各器具の中から選択）

《水質&維持管理》

- オゾネータ（殺菌機）（オゾン殺菌による水質維持）
- 水質調整用品（水中掃除機、初期水質調整キット、水質テストキット、メンテナンスキットの初年分など）
- 水位線タイル（水位線周囲の掃除が容易。標準色はロイヤルブルー）
- 軽量サーマルブランケット（プールの放熱を抑える断熱用カバー。異物の混入も防御）

《情報&サポート》

- 設置完了後の取扱説明及び基本エクササイズの紹介

さらなる多用途をもたらすSwimExのオプション

■特におすすめのオプション

- ・ スイモメーター（水流の強さなど、パーソナル設定が可能。見やすいデジタル表示）
- ・ 赤外線ワイヤレスリモート（すべてのプール稼働機能を遠隔で操作）

■その他のオプション

《さらに多彩な特徴》

- ・ 延長可能な長さ（ほとんどのモデルの延長が可能）
- ・ 埋込自動トレッドミル（挑戦的なランニング/ウォーキングが可能。スピード変更も自在。プログラム可能モニターを装備）
- ・ 水中運動用の器具（アクアバイクやアクアアイリッパス、アクアリクラインなど）
- ・ ハイドロジェットシステム（3つのジェットをプール前部の両側に2つずつ設置。空気制御が付いた個別システム）
- ・ マッサージツール（集中的に鋭いマッサージ効果を与える）

《より充実した安全性》

- ・ セキュリティーカバー（異物などの混入を防ぐのはもちろん、子供のプールへの落下防止）
- ・ スタビライザーバー／アンカー（より安定的なエクササイズが可能）

《より高い性能》 800-S、1000-Sには標準装備

- ・ 7.5HPギアモーター（より大きなモーターで更に早い流水速度が可能）
- ・ 高容量ポンプと濾過器（プールの使用頻度が高い、またはペットのリハビリなどに使用する場合におすすめ）

《より楽なアクセス》

- ・ ステンレス製手すり付きタラップ（プールへのより楽な出入りが可能）
- ・ チェアリフト（歩行が困難な方の水中への出入りが簡単）

《デザインおよび外観》

- ・ プール本体のカラー（標準色のホワイト以外の色の選択可能。水泳方向を示す矢印デザインのカラーの変更は無料で可能）
- ・ 水位線タイルのカラー（環境に合ったタイルカラーが選択可能。デザインタイルもオーダーメイド可能）
- ・ 手すりのカラー（デザインに合った手すりの色を選択可能）
- ・ 水中窓（水中エクササイズをもっと楽しく）

《販売後のアフターケア》

- ・ パーソナルコンディショニングプログラム（パーソナルトレーナーによるプログラムおよびコンサルテーション）
- ・ メンテナンス契約（定期的にチェックおよびクリーニングを行うことで、快適に長くプールをご使用いただけます）



スイモメーター



ハイドロジェットシステム / デザインタイル



マッサージツール



チェアリフト

ご希望に合ったSwimExをお選びください。

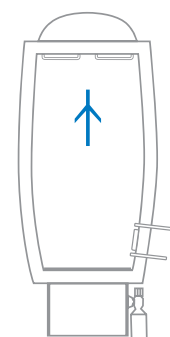
プールを選ぶ際には、基本的に3つの重要なポイント：

「底のタイプ」、「水深」、「層流水の深さ」を考慮してください。

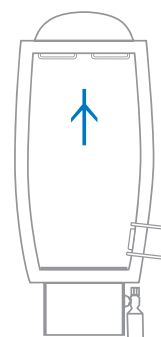
平底タイプ

水循環システムを二重底の下部に設けたプール。平坦な底、ワイドオープンなワークエリアを備えているので、多人数の同時利用も可能。オプションの水中運動器具を追加できるなど適応性も高いタイプ。

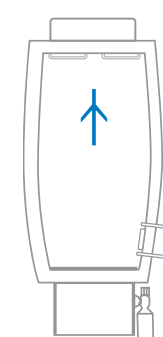
プールの平面図



400-OS

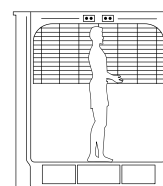
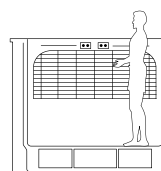
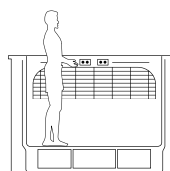


480-S



800-S

断面図



400-OS



480-S



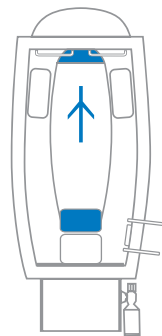
800-S

* オプションの2段水深 (106.7~137.2cm) の例

水深	107cm	122cm	168cm (+ オプション)
層流水深	46cm	71cm	76cm
設置必要面積	22.3m ²	22.3m ²	22.3m ²
駆動システム	5HP	5HP	7.5HP
水面の寸法	190.5x358cm	190.5x358cm	190.5x358cm
埋込自動トレッドミルの設置	×	×	○
長さの延長	×	61cm (3つまで)	91.5cm (1つのみ)
本体の寸法 (幅×長さ×高さ)	231x540x147cm	232x533x173cm	232x557x234cm
ユニットピースの数*	1	4	4

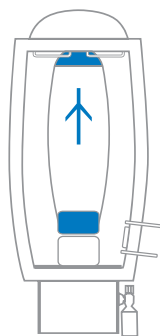
サイドチャンネルタイプ

サイドチャンネル（側面水路）による水循環システムを採用。サイドチャンネルを利用した2つのベンチが特徴（500モデル）。エクササイズステップやランニングパッドも標準装備。水泳、リハビリやトレーニングにも最適。オプションの埋込自動トレッドミルを組み合わせ多用途をさらに高めることも可能。

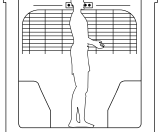


500-OS
500-S

※最もコスト
パフォーマンス
の高いモデル



600-S



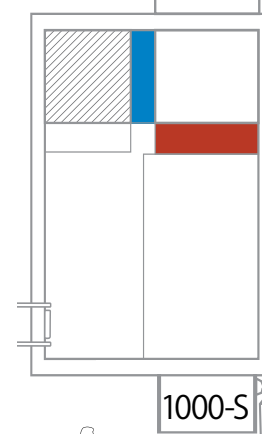
500-OS



600-S

コンビネーションタイプ

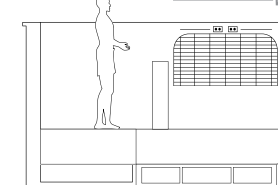
最も大きな住宅用プール。マルチ水深や運動用ベンチが特徴。家族全員でのエクササイズに十分なスペース。水深の異なる位置に別々の埋込自動トレッドミルを据付けすることも可能。



1000-S



1000-S



122、152、183cm（オプション変更可）

76cm

41.8m²

7.5HP

305x427cm

○

61cm（2つまで）

348x637x215cm

4

127cm（+ オプション*1）

46cm

22.3m^{*2}

5HP

190.5x358cm

○

×

(OS) 231
(S) 232 x540x149cm

OS: 1 / S: 4 または 8

152cm（+ オプション*1）

71cm

22.3m^{*2}

5HP

190.5x358cm

○

61cm（3つまで）

232x535x173cm

4 または 8

*1: 両モデルにはオプションで30.5cm

または61cmの水深層を設ける

こともできます。

*2: 600-Sにはサイドチャンネルの変わり

にオプションでワークステー

ションを設けることもできます。

※組立てが必要なすべてのプールは、工場で組立て1ピースとして出荷することができます。

ステップ2:設置現場で考慮すべき事項

施主の方をはじめ、建築士、設計士ならびに工事に関わる各業者の方々は**必ずご一読**ください。どのプールにするのか決定した後に、より詳細なスペースレイアウト、図面、技術資料および設置マニュアルをお渡しします。

※SwimExプールの設置を当社の認定設置施工会社にご依頼いただくことができます。その場合は、設計プランに関する事柄以外は、ここに掲載されている電気および配管工事についての情報の多くは必要ありません。

基本情報

SwimExプールは米国製商品のため、日本国内での設置については様々な確認が必要となります。また、受注生産のため、製造スケジュールによっては、お届けまでに3～5ヶ月要する場合があります。建物工事のスケジュールに遅れが出ないタイミングでご注文いただきますようお願いください。

SwimExプールは、室内、屋外、床置き、床埋込、半埋込など、あらゆるデザインに合わせて設置できます。必要設置面積は約14帖とコンパクトです（1000-S：約25畳）。

- 新築建物や設置場所が広い場合、1ピースのプールであれば組立ての必要がありません。
- 既存建物や設置場所が狭い場合、1.3m×2.2mの開口があれば、複数ピースのプールを搬入し現場で組立てることが可能です。

埋込型

建物床面とプールデッキの高さがほぼ同じになるよう、設置前にプールピットを施工しプールを埋込む方法。



半埋込型

プールデッキの高さを建物床面より若干高くし(ご希望の高さに設定)、プールをピットに部分的に埋込む方法。



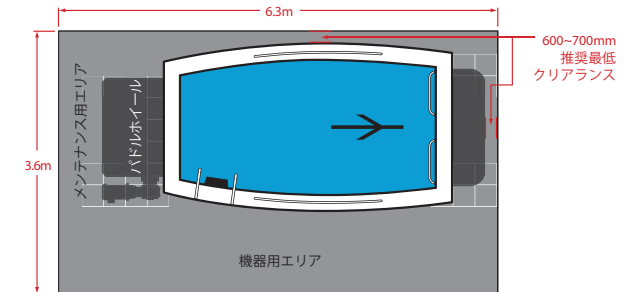
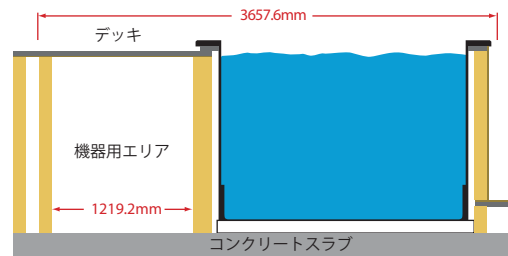
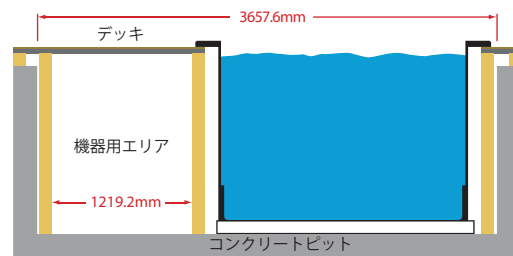
床置型

建物床にプールを置き、プールデッキを建物床面より高い位置につくる方法。



設置に関する必要事項

- 標準的なピットサイズ／設置面積は、3.6m×6.3m (1000-S: 5.5m×7.7m) です。
- 追加の支持体や固定装置の必要がない完全自立式です。
- 水平な場所に設置するだけです。耐荷重は2080～2250kg/m² (800-T: 3850kg/m²、1000-S: 2570kg/m²) です。
- プールは、設置場所のどの方向にもどの部分にも据えることができますが、点検やメンテナンス、修繕のために、すべての側面には最低600～700mmのクリアランスを取ることをおすすめします。
- 要設置周辺装置 (すべて標準装備) : ACテック (電機制御盤) とオゾネータ (殺菌器) は、壁もしくはフロアの骨組みに取付けます。浄水濾過システム (ポンプ、濾過器、ヒーター) には約1.5m² (約1畳分) のスペースが必要です。ギアモーターは、設置時にプールに取付けます。



設計プランに関する必要事項

- プールの設置方向に応じて、必ず手すりとステップの位置、ギアモーターの取付側およびLED水中照明の位置などを注文時まで選択してください。
- 室内設置の場合は、プールの上部約2mの天井高を設けることをおすすめします。モデルによりますが、設置した地面から3.5m～4.25mの天井高になります。
- 埋込み型または半埋込み型の場合は、メンテナンス用のハッチまたはドアが必要です。ハッチの大きさは0.6m×0.6mでも十分ですが、1.0m×1.0mをおすすめします。ハッチの場合には、階段または梯子が必要です。
- プール周りのフロアやデッキは、所定場所でのプールの水漏れテスト後に施工します。プールの縁の上①に設置するか下②に設置するかをプールの注文時まで決定してください。
- お選びになったオプションによって、プールピットやプール室のデザインに必要な仕様は変更します。

①



②

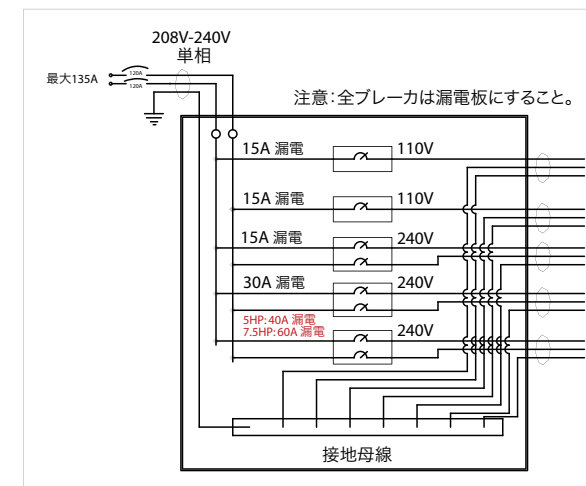


例) 木製のプールデッキや骨組みの場合: 耐腐食性の高いレッドシダー (米杉) やレッドウッドが最適です。

電気に関する必要事項

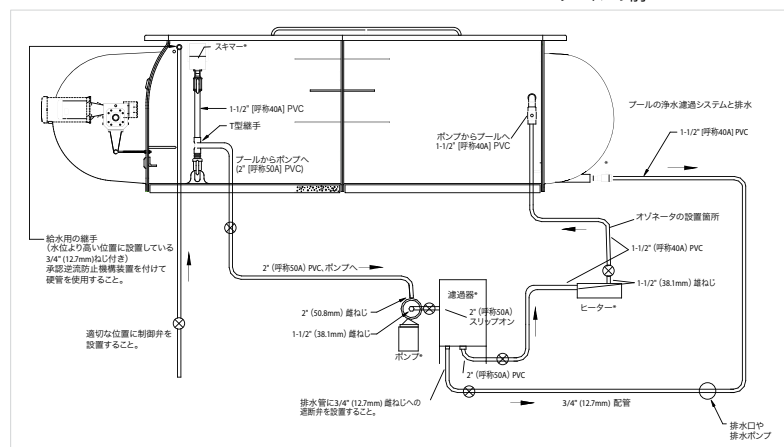
- 各標準装置が稼動した場合の最大消費電力は18kWです。(モデルおよび追加したオプションなどによります)
- 必要電力は、50Hz/60Hz **単相** 208~240V以内※ (定格電圧: 220~230V)、85~135A (定格電流: 105A) です。
- 設置場所には、屋外用GFI (漏電) タイプ遮断器付分電盤を準備する必要があります。
- 設置エリア内には、110V AC電源やメンテナンス用の屋外用照明、換気扇が最小限必要です。
- すべての電気機器は漏電遮断器に接続し、すべての金属設備にはアースを取付けてください。

※日本での設置には通常はトランスが必要です。その仕様は、地域の電気供給能力によって異なります。



プールの後ろ

プールの前



配管に関する必要事項

- プールの給水は、規格ホースまたは既に据付けの継手に水道を接続します。ホース用の給水口は、φ20mm以上を推奨します (φ25mmで満水まで約4時間)。温水の供給の必要ありませんが、ガス湯沸かし器や電気湯沸かし器の設置をおすすめします。
- プールの前部の1-1/2インチ (呼称40A) の主排水口は、プール掃除の際に水を排出します。
- 既に据付け済みのその他の接続: 現場での浄水濾過システムの接続は、規格PVC管で行えます。JIS規格サイズの配水管用のアダプターはSwimExでご用意しますが、管継手などは工事業者の方でご用意ください。
- ピット内には、排水ます又は排水ラインおよび換気装置が必要です。
- 濾過器の洗浄を行う場合には、ピット内にも給水栓が1カ所があると便利です。

環境管理に関する必要事項

- 室内プールの場合は、小窓、通気孔や換気扇などを取付けて十分な換気を行ってください。ピット内では高温多湿状態を防止するため、換気口や自動湿度管理装置で自動換気できる装置の設置をおすすめします。
- 室内プールの場合は、エアコンの設置もおすすめします。
- サーマルブランケットまたはオプションの安全カバーを使用すれば、放熱を最低限に抑えることができます。
- 防水対策として、プール周りの配管が破損して水が漏れても、その下に悪影響がないような対策 (排水ポンプなど) を検討する必要があります。

*詳細な設置説明に関しては、当社ウェブサイトの「仕様など」のページからPDFファイルをダウンロードしてください。

ステップ3：プールの搬入と設置

設置の全段階
(床置きの場合)



現場の準備



1ピースのプールをクレーンで設置場所に移動



※ 組立てが済んでいない複数ピースの搬入



完成間近



完成！



ピット内にSwimExを設置 (または組立て)



SwimEx周辺の石膏ボードのフレーミング



水漏れテスト後にデッキのフレーミングを作る



プールを水平にする

搬入および設置の際には、当社担当者が現場でアシストをします。

SwimEx社とは？

米国SwimEx社のテクノロジー開発は、マサチューセッツ工科大学卒の二人のエンジニアにより1984年に始まりました。リハビリを目的とした独自の流水プールを設計製造した彼らの発案とは、プールの前部に水を推進させ、深く整った流水を発生させるパドルホイール技術でした。その後、FRP製ヨットの考案者がこの特許技術の権利を獲得。長年培ってきたデザイン技術、そしてFRPの最先端の専門的知識をこのパドルホイールコンセプトと組み合わせSwimEx流水プールを開発し、1986年にSwimEx社を設立しました。

今日、SwimExプールは、エクササイズの可能性を最大限にあげる様々なサイズ、深さ、構成の幅広いラインアップを展開しており、世界中のプロや大学のスポーツチームの施設や病院、理学療法施設、スポーツクラブ、そして個人住宅で利用されています。米国本社は現在も同じファミリーが経営しており、アクアフィットネスおよびリハビリプールの世界的リーダーとして、最高品質の流水プールと機器の製造に専念しています。

SwimExは、製品の質、独自の水環境のユニークさ、サービスに誇りを持ち、皆さまで一人ひとりの豊かな健康生活の実現に貢献します。



662-0087

兵庫県西宮市苦楽園五番町2-161

0798-76-5545  0120-216-892

www.swimex.jp